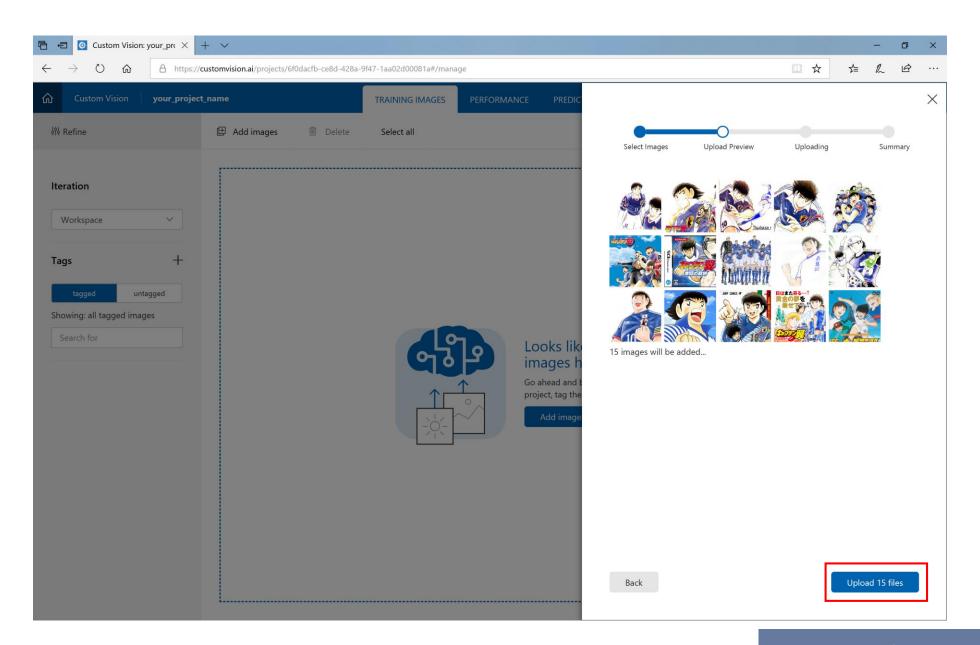
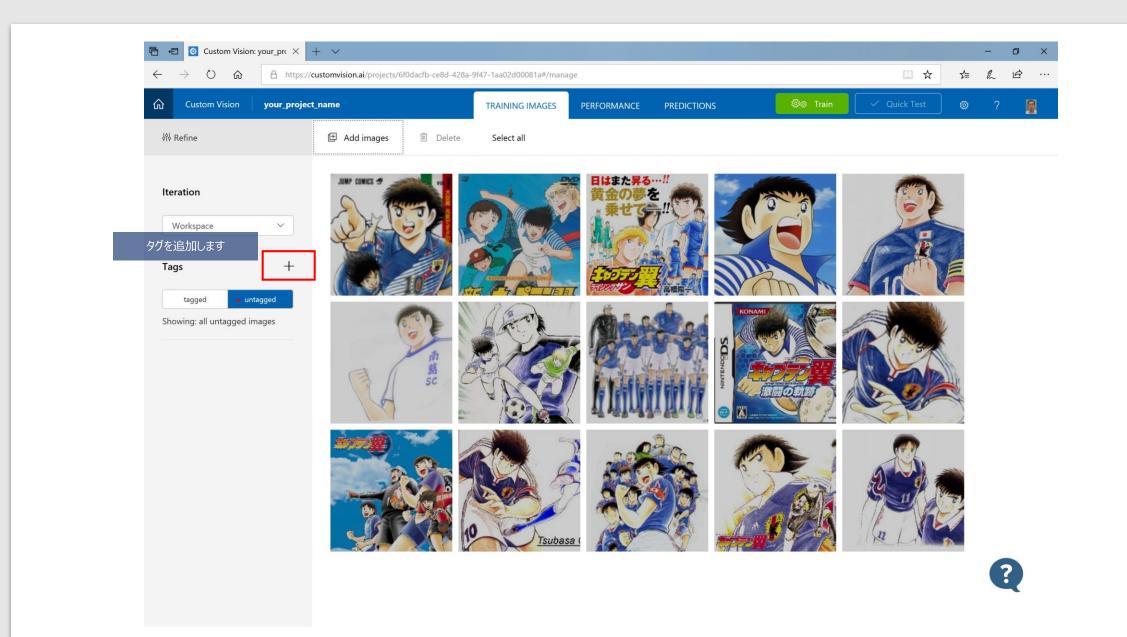
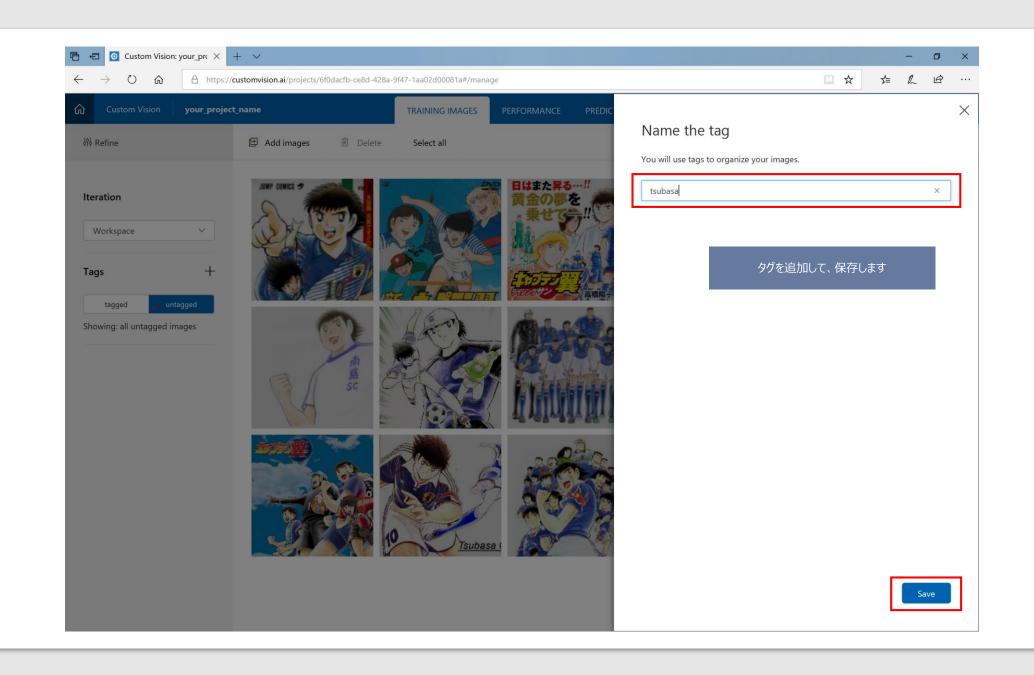
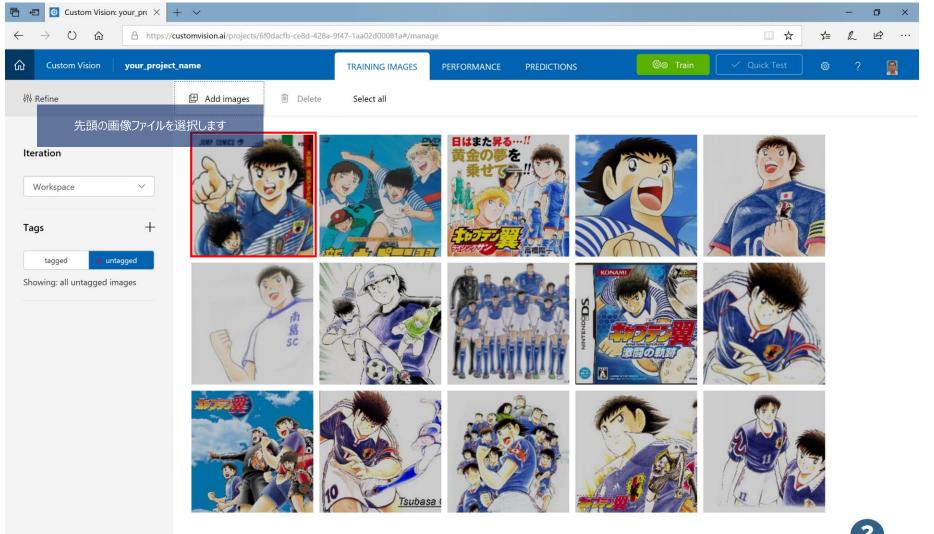


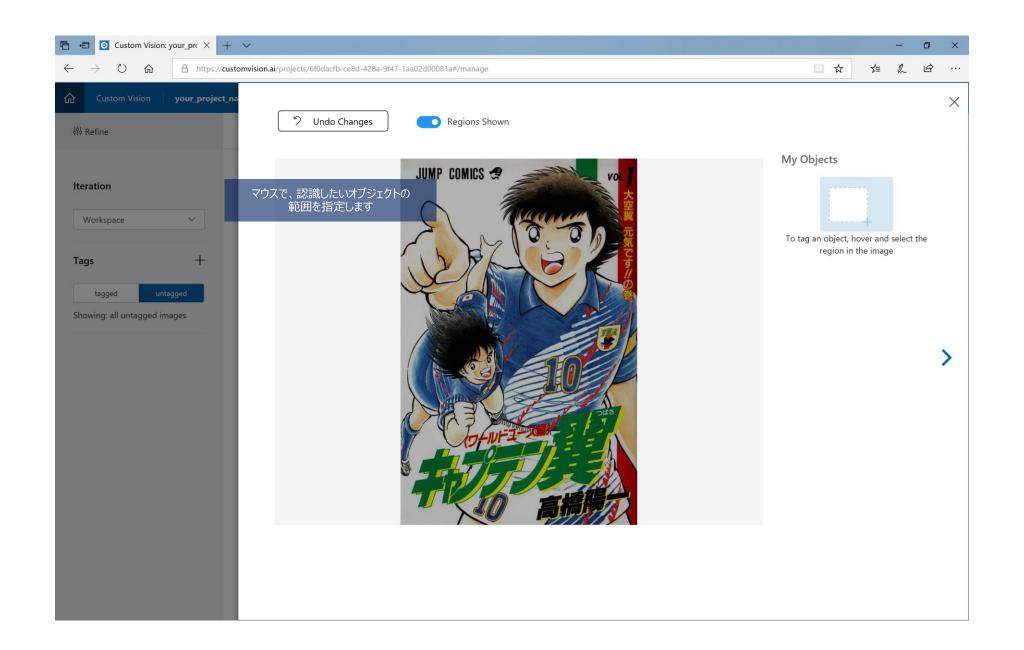
画像ファイルを選択して、アップロードします

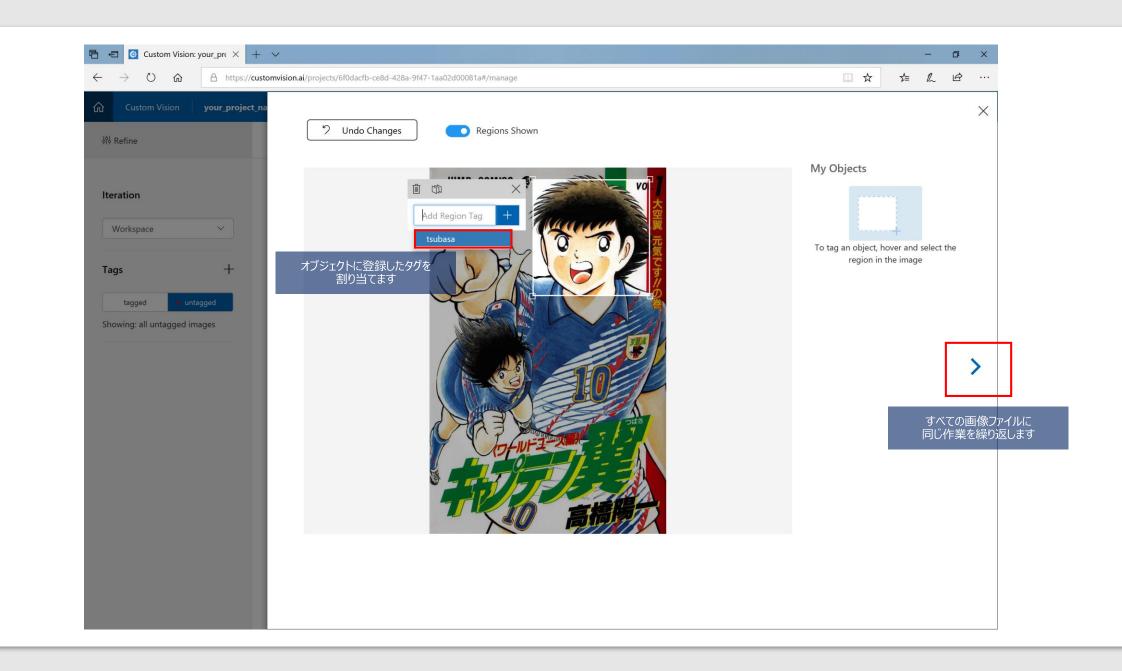


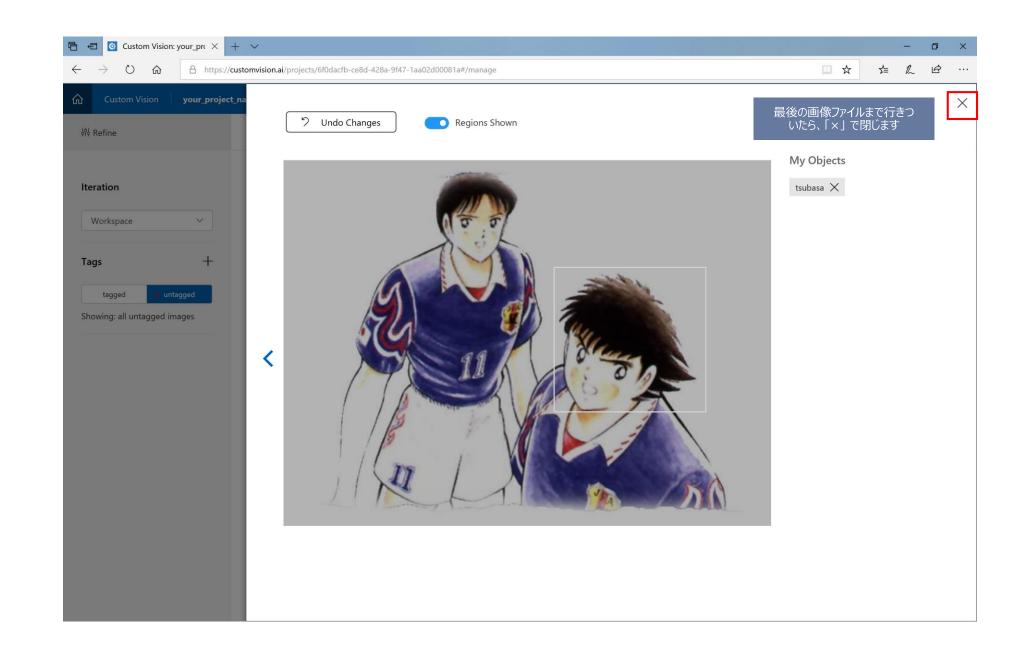


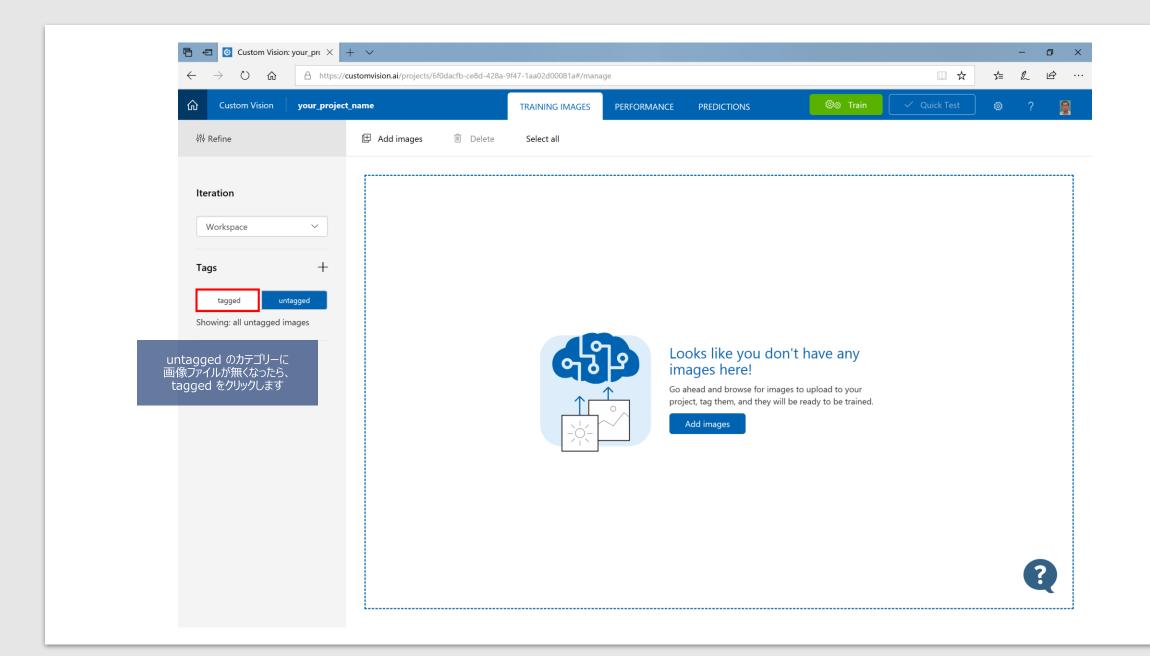


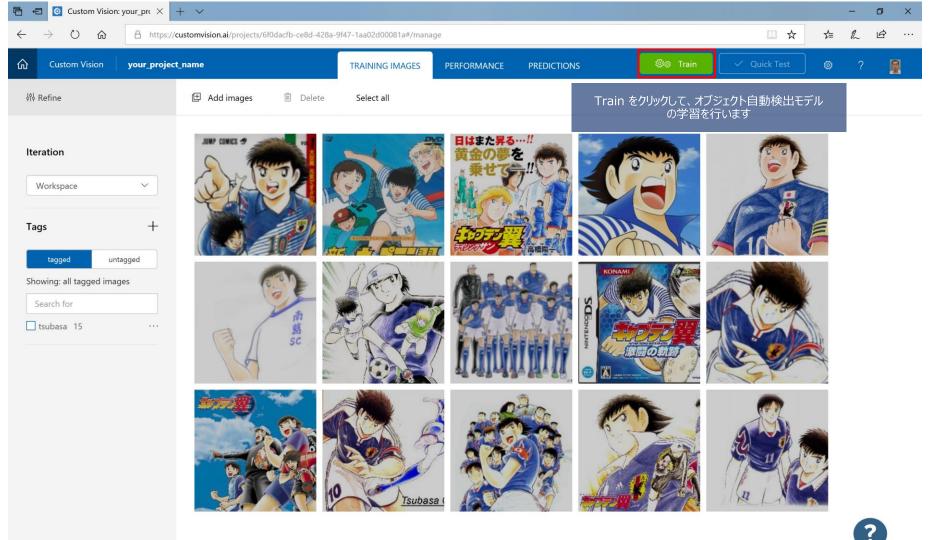


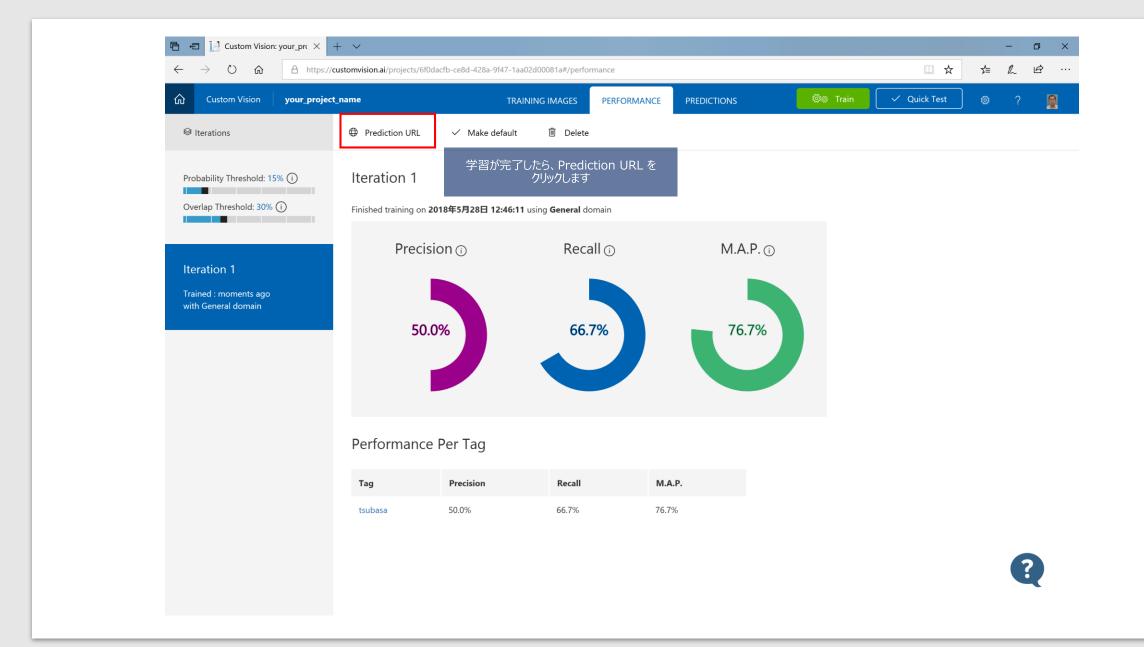


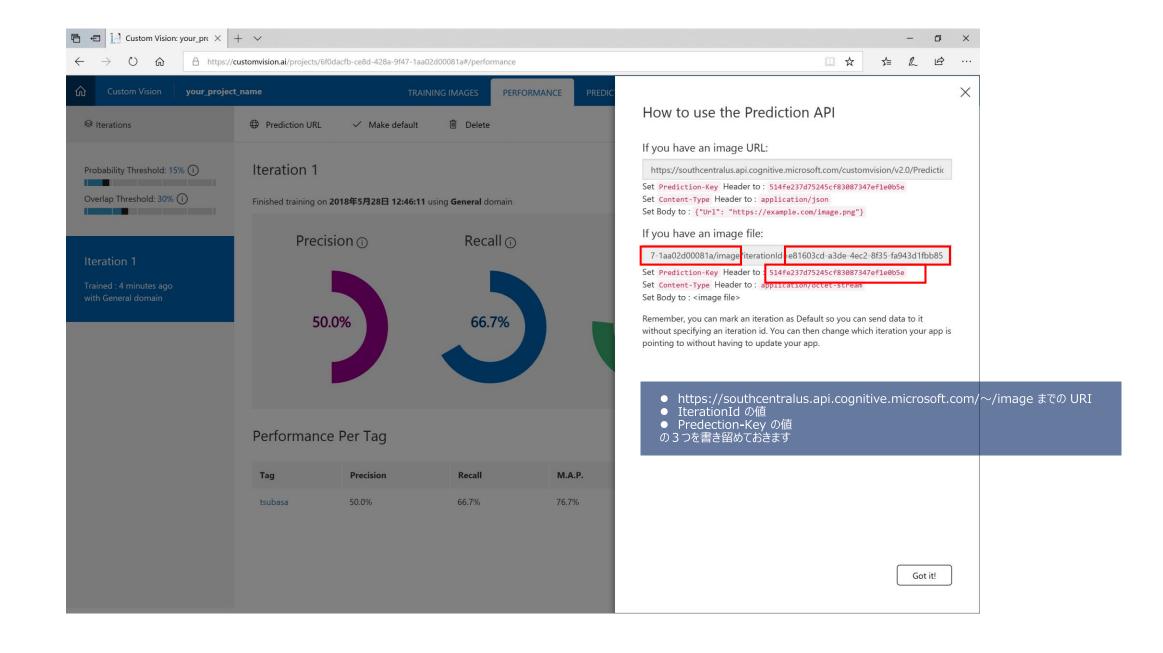












■■設定画面	_	×
Custom Vision API エンドポイント (「?」以降のURLパラメータは除く)		
例: https://southcentralus.api.cognitive.microsoft.com/customvision/v2.0/Prediction/xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx	mage	
IterationId (URLパラメータ : IterationId の値をセット) ※トレーニング実施の度に新しい ID が付与されます		
Prediction Key (HTTP ヘッダー : Prediction-Key の値をセット)		
信頼確率の初期値 (オブジェクトを検出する際の閾値 ⇒ 例: 0.5) 0.5		
設定の保存		

CustomVisionObjDetectWpfApp アプリを起動し、前頁で書き留めておいた以下 3 項目

- https://southcentralus.api.cognitive.microsoft.com/~/image までの URI
 IterationId の値
 Predection-Key の値

を上記の設定画面の各項目に設定し、「設定の保存」をクリックしてください